

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

区政レポート

Withコロナ、社会生活の支援体制を区長に訊く？



本会議全体と一般質問への登壇様子

優先順位を付け、迅速な対応が必須！

発行者

練馬区豊玉北6-12-1
練馬区役所西庁舎6階

会派名

練馬区議会立憲民主党

03-3999-3111

内線7681～7683

休業対象外の介護
を含む事業者の売
上減少は死活問題。
区独自の支援を。

コロナ対応のコール
センターが超多忙に。
保健所の本来業務は。

【問】保健師や職員を増員

するも、本来の業務は、乳
幼児から高齢者と幅広く、
健康的な生活を支えられる
よう相談や訪問等が中心と
なっている区内の保健所の

機能強化は必要となるが、
今後、感染拡大を見つめた
感染対策も必要なことから
新たな専門機関を設置し、
体制改善と充実を。

【答】業務の効率化を図る
ためのシステム導入や業務
委託、必要な人員への精査
をしていく。

【問】保健師や職員を増員
するも、本来の業務は、乳
幼児から高齢者と幅広く、
健康的な生活を支えられる
よう相談や訪問等が中心と
なっている区内の保健所の
機能強化は必要となるが、
今後、感染拡大を見つめた
感染対策も必要なことから
新たな専門機関を設置し、
体制改善と充実を。

マスク着用と熱中
症。子ども等への
健康配慮は。周囲
からの同調圧力
も問題。啓発を。

【問】猛暑の季節、マスク
着用が熱中症を誘引させる。
大人や子どもへの健康管理
に向け、正しい知識の啓発
で命の守り方や予防対策を。

【答】新しい日常や生活様
式を含め、命の危険や健
康リスク等、HPやチラシの

配布・ポスターの掲示を通
じ正しい知識を啓発してい
く。

コロナ禍で自然災害
対策が大きく変わつ
た。区の地域防災計
画の改定は急務。

【問】様々な自然災害が、
も売り上げダウンが続き、
事業継続の難しさに不安を
感じている事業者も多い。

【問】休業対象とならない
事業者も、感染防
止に努め、利用者数も減少、
経営に苦しんでいる。他の

自治体のように介護サービ
スも含む事業者への独自支
援を行うべき。

【答】福祉業の従事者に、
一人2万円の区独自の特別
給付を。事業者の売上減等
の緊急対策には、区独自の
特別貸付を開始し、相談窓
口も開設、金融機関にも協
力要請をしていく。

【答】平成30年に発生した
日本各地の地震発生や昨年
の台風15号・19号などの被
害で101の課題もわかり、
災害対策の再点検を進めて

いる。併せて、避難所での
新型コロナ感染症対策も必
要と認識、公共施設の活用
も含め、地域防災計画に反
映していく。



議会HPのライブ（生中継）

白石けい子 活動レポート



練馬区貫井育ち、高松在住。昭和29年生れ。
練馬区立練馬第二小学校・貫井中学校・都立第四商業高等学校・東京都練馬高等保育学院卒業。保育士・社会福祉主事・ホームヘルパー2級。
1994年10月 保育サービス事業 現「保育ルームぽかぽか」の事業開始。
2000年12月 NPO法人 ケアステーションぽかぽか設立 現理事長
2002年1月 「ぽかぽかデイサービス高松センター」を開設し、保育との融合施設。
2007年4月 初当選。現在、4期目。家族 夫・子ども7人(義理含)孫 6人 猫 1匹
連絡先: 練馬区高松3-24-19 TEL 03-3990-3107 E-mail info@shiraishi-keiko.net

補正予算の審議

国からは約2億7千万円。東京からは約1億2千万円、練馬区からは約12億円の基金の取崩しを行い、補正額約14億2千万円となつた。緊急事態宣言後、人々は、それぞれに、生活様式や仕事の在り方も変化した。区民の生活サービスへの大事な税金でもあり、今後の税収減も予測されることから、今こそ、地域にあった支援体制が求められている。丁寧に進めていくべきと意見し、賛成とした。

今年の敬老の日に向け 対象者と「敬老祝い品」が 報告された

今年の年齢別対象者の発表がされた。最高齢105歳1名。100歳以上556名。白寿290名。米寿3810名。祝い品は、平成7年から練馬区内共通商品券で、今年の総額は3300百万円とのこと。ご長寿のお祝い品です。ぜひご本人様の祝い品として活用されることを願っている。

新型コロナ感染症への 区内の抗体保有者数の調 査結果が公表された

6月に行つた区内千人の無作為抽出による抗体検査が行われた。検査結果は、実行者数737名中、陽性だった人は1名、保有率は、

0.1%のこと。これは、都のデータ結果と同様となり、区民の大半の人が新型コロナウイルス感染症の抗体を保有していないということになる。

抗体を持てば、2回目の感染はしない、と思ったが、抗体の性質としては確定はしていない。それだけに、日頃からの感染防止を中心掛けていくことが重要になる。

羽田飛行の増便ダイヤル の新ルートを見直す検討 会が開催された

国土交通省航空局(JCAB)は、3月に運用を始めた羽田空港の新飛行経路について、一部をこれまでと同じ経路に戻すことの検討に向け検討会を6月30日に開催した。

理由は、関係する自治体などから固定化しないよう求める声もあり、技術的観点から検討を進めるとのこと。

これは朗報である。何故なら、決行ありきではなく、区民たちの声を受け止め、国交省も立ち止り、見つめなおすことをしたのである。市民の力の勝利と言えるだろう。

ライブ配信の視聴を

定例会中の本会議場の様子がライブ配信されている。議員の質問や行政の回答等、区民の関心が政策に反映もされる。だから、是非、多く方々の視聴をお願いしたい。



映画上映と監督との対談会

立憲民主党政策セミナー



信友直子監督



監督談:娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー映画です。

日 時: 令和2年 7月19日(日) 17:45~20:15
(17時30分~ 入場可能)

場 所: ココネリ 研修室 1~2 (練馬駅そば)

定 員: 60名 参加費: 無料

レジュメ 17:45~19:00 (映画上映)

19:00~20:00

※社会的な状況により、開催不可能となつた場合は、HPにてご案内します

(監督と「ミニケアホームきみさんち」志寒氏と対談)

問合せ:申込み方法 白石けい子 info@shiraishi-keiko.net

▼白石けい子の考察▲

6月定例会が開催され、私の所属する委員会も決定した。今年は、「議会運営委員会」「保健福祉委員会」「都市農業・みどり環境等特別委員会」「緑化委員会」に所属する。そして、沢村信太郎・富田けんじ3名の会派構成の中、再度幹事長を努めます。

右記の写真は、5月に開催予定をし、自粛延長により中止となつた映画のご案内です。視聴と監督との対談会を再度開催します。テーマはリアルですが、夫婦の絆や老いることの現実と前向きな生き方に感動します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

東京都知事も決定し、今後の東京の行方を決める大事な選挙でした。まずは、これまでのことの検証と思い付きで手のひらを返すような政策ではなく、地に足を付けて都民のために働いてほしいものです。